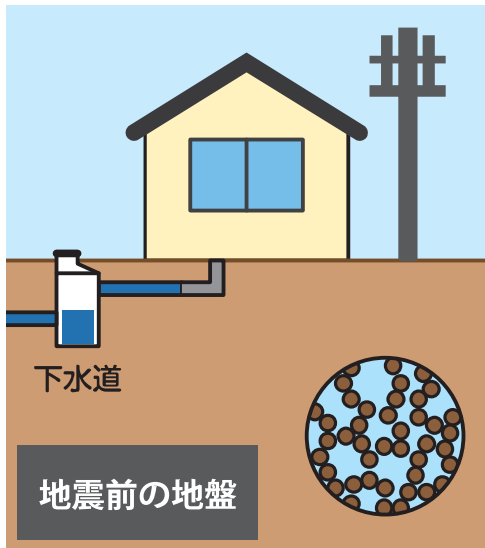
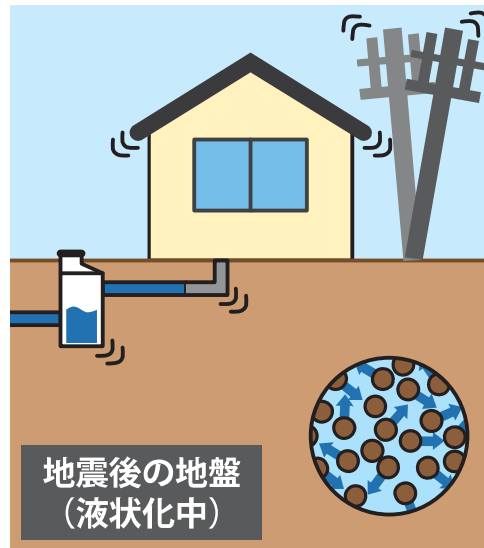


液状化

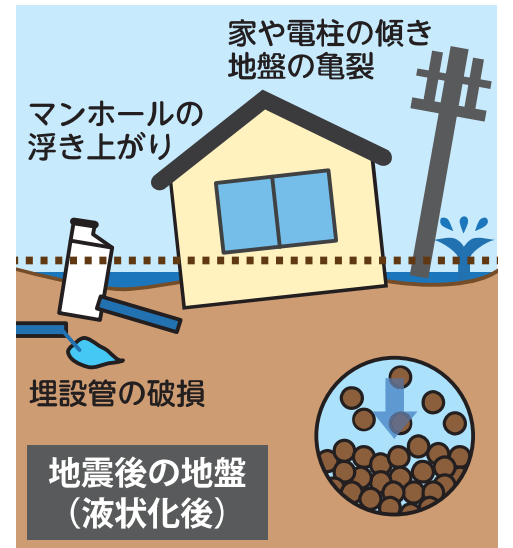
液状化発生のしくみ



砂などの粒同士がくっついて、その間を水が満たして地盤を支えている。



地震により、粒同士の結合がなくなり、水に浮いた状態になる。



砂の粒は沈下して水と分離し、地盤の沈下や亀裂を引き起こす。

液状化の発生状況



出典：液状化被災市街地における地下水位低下工法の検討・調査について（ガイダンス（案））/ 国土交通省

液状化危険度マップについて

液状化危険度マップは、液状化の発生のしやすさを示したもので、実際に地震が起きた時に液状化するか、しないかは、地震の発生位置、地震動の大きさや長さ、地盤の性状や地下水位の状況によって異なります。また、液状化の可能性の程度と被害の大きさも、条件によって異なります。

液状化の可能性が低い判定の場所で液状化が発生した場合でも、その土地の性状や建物などの構造によっては大きな被害となることがあります。

日ごろからの備えの重要性

液状化対策によって、建物や周辺の施設に被害がなくても、日常生活に深くかかわっているライフライン（電気・水道・ガス）や道路等が液状化による被害を受けることも少なくありません。

甚大な被害が発生した場合、自宅に居住し続けることができなく場合もあります。

液状化の危険度の低い地域においても、ライフラインや道路等の被害は、広域的に影響が波及することも考えられますので、非常時持ち出し品、備蓄品を充実させておくことが重要です。